

はじめに

【教科「情報」4つの観点】

- ① 問題解決能力の育成の重視
- ② 情報活用の実践力
- ③ 情報の科学的な理解
- ④ 情報社会に参画する態度

【本校での留意点】

- ① 身近な学習課題を取り上げる。
- ② 情報の収集・加工・処理・発信などの実習中心とする。
- ③ 可能な限り、自己評価と相互評価を実施する。
- ④ 情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させる。
- ⑤ コンピュータや情報通信ネットワークの特性や仕組みを理解させる。
- ⑥ 問題解決(自ら問題を見つけて自ら解決する)能力を育成する。
- ⑦ 情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。
- ⑧ 1年次の実習内容は各論的、2年次の実習は総論的なものとする。

【単位】

2単位 (1年次に1単位、2年次に1単位 の分割履修)

【教科書】

情報A (実教出版)

【副教材】

30時間でマスター OfficeXP (実教出版)

情報A 1単位	学習指導案 【2006年1月27日(金) 7限目 情報教室】		明浄学院高等学校	第2学年7組 (21名) 担当者 野口 仁志 今井 隆史
単元名	情報統合実習まとめ・メディアリテラシー ～モンタージュ理論基礎実習～ (配当1時間)			
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のカット(ショット)の組み合わせで新しい意味が生まれることを学ぶ ・モンタージュの光の部分とともに影の部分にも目を向ける ・映像表現への理解を深める 			
指導 計画	生徒の学習活動	備考		
	「クローズアップの無表情な子どもの顔」写真の前に ①「ご馳走」写真 ②「動物」写真 ③「電車の車内」写真 ④「海岸の風景」写真 をそれぞれ組み合わせるときに受ける子どもの顔の印象(イメージ)を、各自で共有フォルダに書き込み、全員で閲覧して体感を共有する。	導入 (15分) 「クレショフ効果の実験」の体感 組み合わせさせた映像のイメージ、メッセージを理解した内容を書き込むよう指示する。		
	4つのグループ(5名～6名)に分かれて、 授業者の提示する「喜怒哀楽」のイメージを表現した作品(写真の組み合わせ)をパワーポイントで制作する。写真のサンプルは共有フォルダ内に用意する。	展開1 (15分) 作品の制作 グループ内で役割の分担や制作時間配分をうまくするよう指示する。		
	各グループごとに作品を発表する。	展開2 (10分) 作品の発表と鑑賞 苦労した点や特に注目してほしい点などをコメントさせる。		
	モンタージュ効果を利用した映像作品などを視聴する。 ・「世界のCM」 ・マスコミのやらせ映像など	まとめ1 (5分) 映像作品などの視聴 モンタージュ理論の確認と補足		
映像に対する理解の深まり方についての感想を共有フォルダに書き込み、全員で閲覧し、共有する。	まとめ2 (5分) 映像表現への理解の深め			
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージCM制作実習のまとめ的な位置付けをおさえる。 ・映像にだまされないための知恵を学び、映像表現への理解を深めるためのメディアリテラシー授業を目指す。 ・生徒にとって「目から鱗」の授業に。 			